

# 玉名市まちなか ▶ 未来プロジェクト

～市の中心部に玉名ならではの魅力ある交流と安心安全な拠点を実現し、にぎわいがあふれ、歩きたくなるまちへの再生へ～

## 玉名市まちなか未来プロジェクトについて

令和5年11月27日

都市計画審議会報告資料



玉名市まちなか未来プロジェクト事務局

---

○玉名市まちなか未来プロジェクトとは・・・

---

●玉名市が抱える課題点

- ・ 少子高齢化による人口減少
- ・ 繁栄してきた市の中心部のにぎわい低下
- ・ 空き家・空き店舗の増加
- ・ 玉名市役所旧庁舎跡地の利活用
- ・ 旧中央病院跡地の利活用
- ・ 公的資産の適正配置  
(文化センターの老朽化、玉名第一保育所の建設等)  
など

○玉名市まちなか未来プロジェクトとは・・・

## 「玉名市まちなか未来プロジェクト」

都市機能が集積する市の中心部に**活力と魅力**を高め、  
**健康で笑顔あふれる良質な暮らし**を実感できる  
**にぎわいのあるまちづくり**に取り組む

## 「玉名市まちなか未来プロジェクトチーム」

庁内横断的な組織

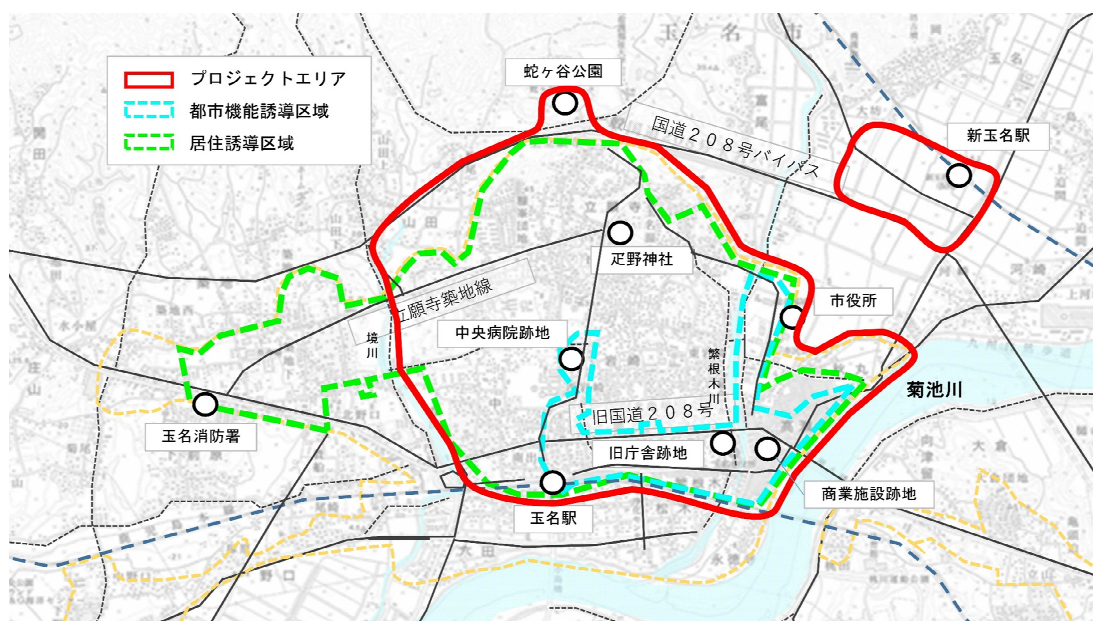
課題点の抽出・検討・実行を行う機関

令和5年4月3日 発足

3

○プロジェクトのエリア

●にぎわいを生み出す目標エリア



4

○プロジェクトチームが目指す方向性・目標

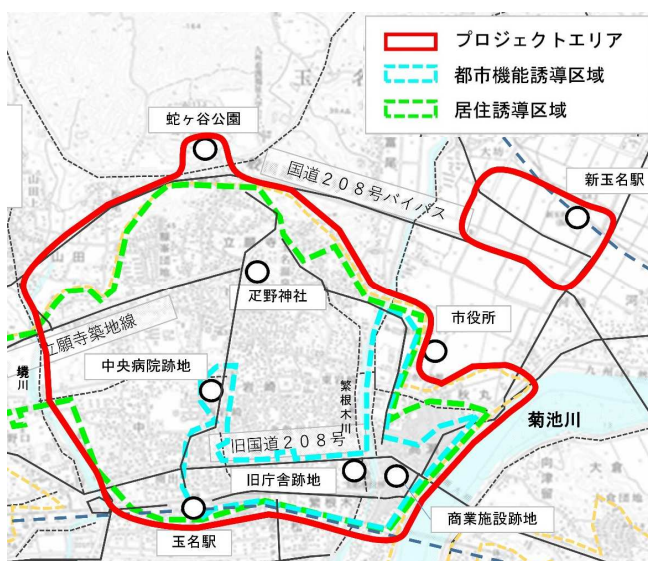
●目標

- ・都市機能が集積する**市の中心部における全体構想（グランドデザイン）、基本計画等の策定**
- ・**にぎわいのあるまちづくりの取組**についての検討。
- ・市の中心部に点在する**公的不動産等の有効活用及び適正配置**の検討
- ・拠点間の公共交通の連携及び各拠点の**機能強化**についての検討
- ・都市の人口減少、空き家及び空き店舗の増加等様々な諸問題の**情報共有**及び検討

5

○プロジェクトチームが目指す方向性・目標

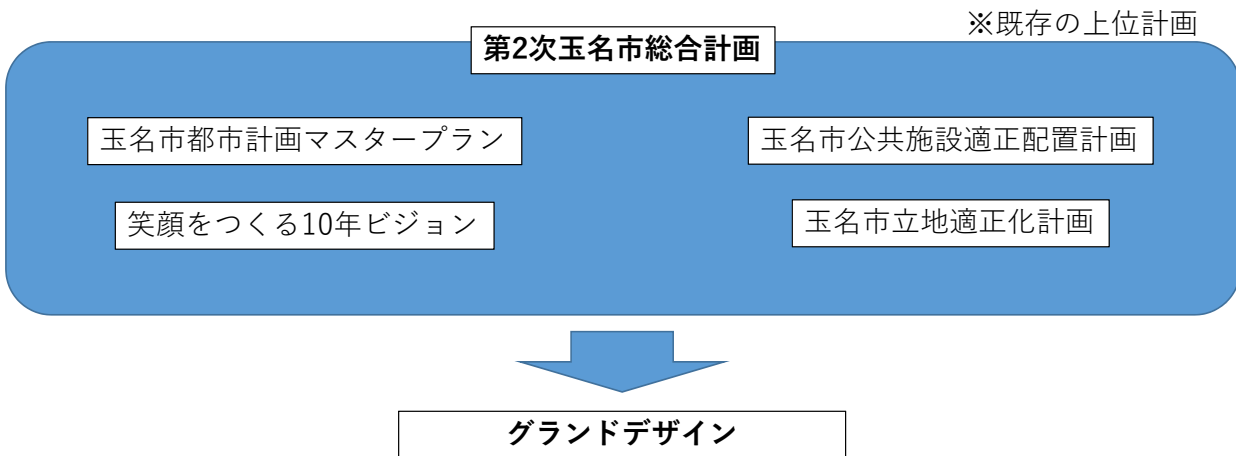
●令和5年度のプロジェクトチームの目標



- ① まちなかに、にぎわいを生み出すための基本構想、**グランドデザインの構築に向けた職員の意識向上。**
- ② 産官学金で構成される、まちづくりについて検討・運営・実行する組織、エリアプラットフォーム「**まちなか未来デザイン会議たまな**」の構築に向けた準備。
- ③ **公的資産の適正配置や有効活用**について全庁横断的に協議し、まちなかのにぎわい創出と最適化を目指す。

6

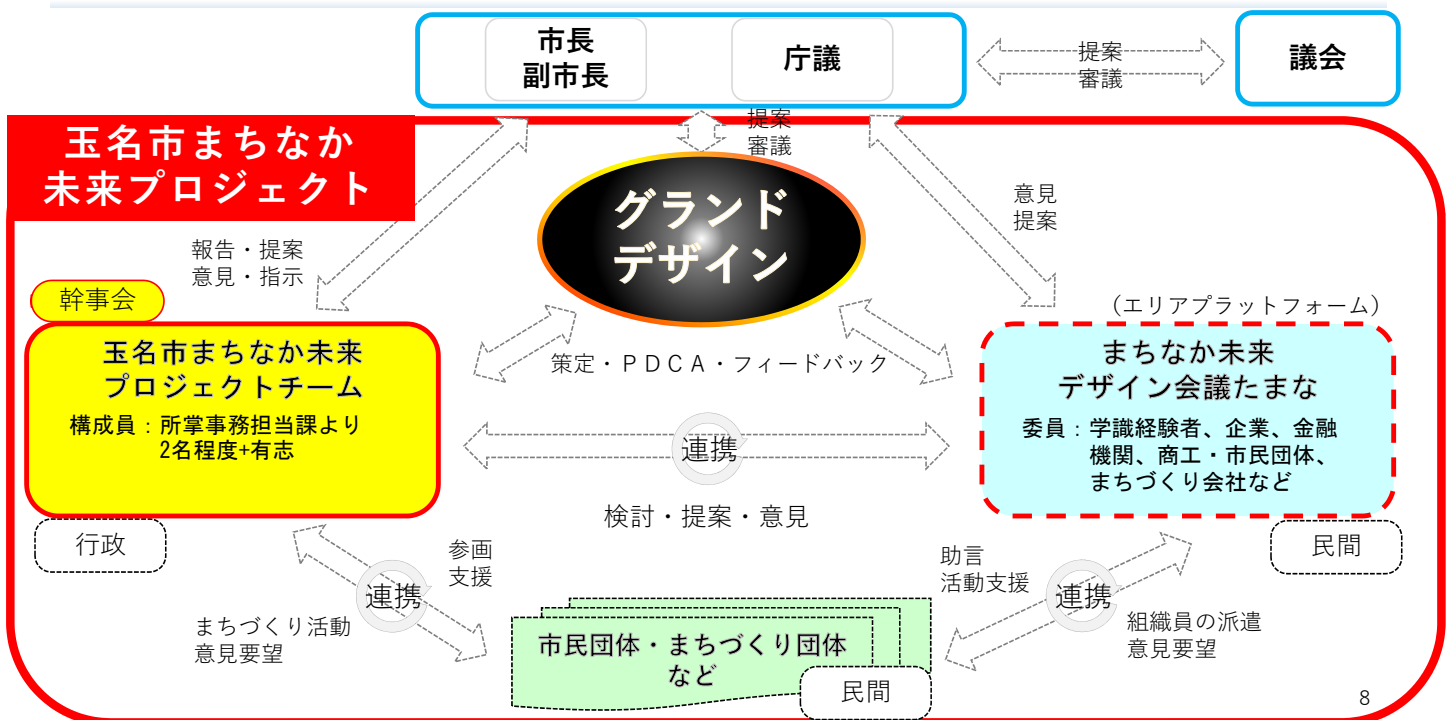
○ グランドデザインの位置づけ



行政と民間・市民が参画し、にぎわいのまちづくりを行うための基本構想

まちづくりの活動を実行するための基本指針

○ 玉名市まちなか未来プロジェクトの組織と検討体制



# ○プロジェクトチームの本年度の活動内容

別紙参照

## 4月1日～現在までの取り組み

- ・庁内グループワーク 5回
- ・講演会 3回
- ・研修会 4回
- ・体験会、アンケートなど 5回

日程	内容	参加	備考
1 4月25日～	ドレフケ 「玉のいいところ・残念なところ探し」 玉のいいところ、残念なところ。こうなったらいいなと思うことを付箋に書き、グループ内で発表しあい、グループごとの玉のいいところをいいなという未来像のキャッチコピーを決めてもらう。	48名	アンケート ・課題設定 ・意識調査
2 6月1日	課題抽出 ・各課が抱えている課題点についての抽出及び課題の共有化 ・各課一歩踏み出したことまで行なう予定	42名	第1回会議の開催として発表を行った
3 6月1日	ドレフケ 「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」 玉のいいところ、残念なところについて改めて玉のいいところ、残念なところを探し、グループ内で自分の意見を言い対話し、グループとしての意見をまとめる。	39名	アンケート ・意識調査 ・詳細、具現化
4 6月18日～	アンケート調査 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	14名	
5 7月7日～	視察研修 前市議会議員 「令和から令和後まで生き残る『まちなか未来プロジェクト』のあり方について」 「地方自治体の現状と未来」 「地方自治体の現状と未来」 人口減少社会の中で、地域と連携したまちづくり（GIS）を進めることで、残るまちづくりを目指す。また、自治体職員としての使命感による使命感の取り組みなど。	2名	研修 上記
6 7月12日	講演会 熊本大学 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	39名	たまな未来創造塾 （地域連携講座）
7 7月25日	視察研修 大分県知事 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	1名	研修 詳細 上記
8 8月21日	ドレフケ 「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化（詳細）」 前期の玉のいいところ、残念なところについて、より詳細に玉のいいところ、残念なところを探し、グループ内で自分の意見を言い対話し、グループとしての意見をまとめる。	29名	アンケート ・意識調査 ・詳細、具現化
9 8月28日	ドレフケ 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	28名	研修が抱える課題点についての調査
10 9月28日	講演会 （株）長次 山崎社長 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	28名	研修会 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業 ドレフケ
11 10月5日～	アンケート調査 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	38名	
12 10月27日	講演会 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	34名	内閣府認定 地域活性化広域講座
13 11月7日	視察研修 後援者視察 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	2名	研修 詳細 上記
14 11月10日	体験会 国土交通省主催「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	20名	第1回会議の開催 計画的研修 参加者 4名
15 11月13日～	視察研修 富山県視察 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	1名	研修 詳細 上記
16 11月1日～	体験会 「まちなか未来プロジェクト」についてアンケート調査（対象：構成員、オープン参加者） 参加者に対し、プロジェクトの印象や満足度、改善点やこれからの取り組みについて調査した。	1名	研修 詳細 上記

# ○これまでのプロジェクトチームの活動紹介

## ●グループワーク

○ブレインストーミングによるワークショップ「玉のいいところ・残念なところ探し」



アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

アンケート調査  
「玉のいいところ・残念なところ探しの詳細・具現化」

☆職員が考えた提案報告書（ブラッシュアップするため継続して検討中）

## ○これまでのプロジェクトチームの活動紹介

### ●講演会

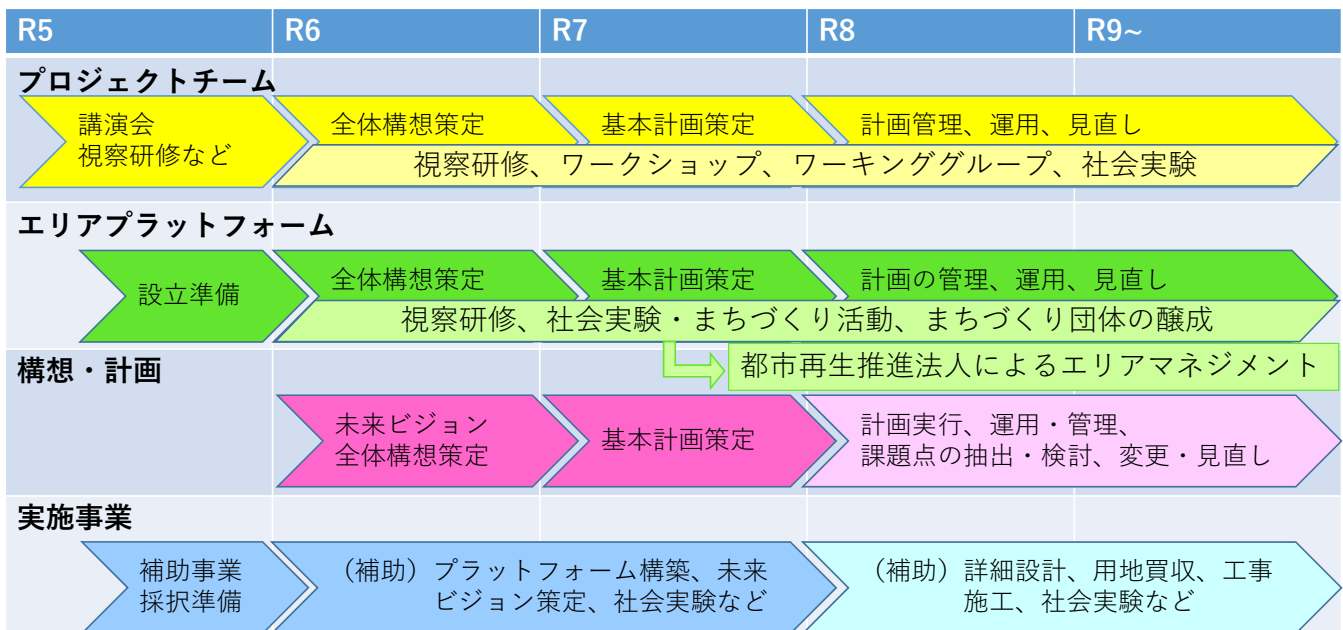
○熊本大学副学長 金岡省吾教授による講演会「地方創生の現状と未来」



11

## ○チームが目指す方向性・目標

### ●年度間スケジュール（簡略版）



12

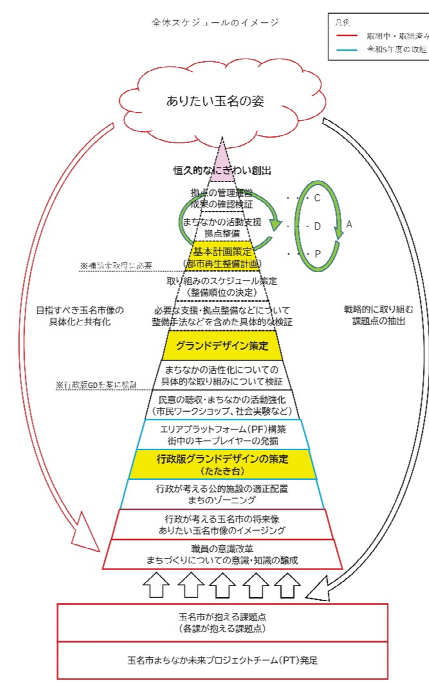
# ○スケジュール（令和5年～6年の詳細）

別紙参照

# ○スケジュール（令和5年の詳細及び模式図）

行政版グランドデザイン（GD）作成までの プロジェクトチームスケジュール

	4月	5月	6月	7月
予定 ○日 作業	4/26 第1回会議 ○グループワーク（GW） 「ありたい玉名の姿」のイメージ 具象化案 （アイデアをたくさん出す）		6/1 第2回会議 ○GW 「ありたい玉名の姿」の具象化 （現実性、信頼、目標性 （具体性）に集約する）	7/12 第3回会議
知 見 多 収 集	V報告 ・プロジェクトの進捗説明 ・目標の共有 ・取り組の進捗について		V報告 ・各課が考える課題の収集 ・アンケート調査結果の収集	○審議会 相互討議の現状と未来 格別大学：会定数 ・CSV（共有する情報の抽出） ・協定をめぐり（教育・等） ・行政の取り組み
進 捗	・案前案考案了（データ取 集）		・情報系の抽出 ・最終作業作成 （計画が定まらず達成不足）	
8月	9月	10月	11月	
8/21 第4回会議 ○GW 「ありたい玉名の姿」の具象化 （現実性、信頼、目標性 （具体性）に集約する）	9/28 第5回会議 ○GW 課題の検討 行政業務の洗い直し案 （具体的な数値に集約する）	10/23 第6回会議 ○GW（予定） 課題の検討 個別課の次年度計画	11/20 ○GW（予定） 分科会に分かれて の作業	
V報告 ・進捗の共有 ・課題の抽出	○講演会 （委員長：山田氏 ・PPPの活用 ・民間企業の参入方法	○講演会 （委員：山田氏） ・協賛の活用 ・協賛の活用		
進 捗	・ありたい玉名の姿、ビジョ ン達成に向けた課題の抽出 完了	・公約案の修正調整、まち のゾーニングのたたき台作成	・公約案の修正調整のプ ラッシュアップ	
12月	1月	2月	3月	
12/20 ○GW（予定） 分科会に分かれて の作業	1/18	2/14	3/21	
知 見 多 収 集				
進 捗	・行政版グランドデザイン 案の策定、内容抽査	・行政版グランドデザイン 策定完了		



別紙参照